

広報
うけん

Public relations magazine of village Uken

VOL.329
2018 Mar. 3

オキナワチドリ
(撮影：3月12日)

天皇杯受賞の 評価ポイント

①自主的な努力と創意工夫、合意形成、推進体制の整備・運営

小中学校の存続の危機に直面し、校区一丸となって親子山村留学の移住者を受け入れ、校区全体の活動とおして移住者を含めたコミュニティの形成・醸成をしている。



地域みんなで空き家を改修

②地域農林漁業の振興、担い手の育成

移住者は地域農業の担い手となり、亜熱帯性果樹の新規導入、伝統野菜の復活、加工品の開発等を行い、首都圏等に販売している。



フィンガーライム 在来ニンニクの復活 ニンニクとポタテボウフウ（長命草）のバスターソース

③豊かで住みよい農村漁村の建設

校区が一体となった子育て・教育、結いの心・伝統文化の継承、自然環境の保全に取り組んでいる。このように、I・Uターナー者との共働により地域再生に取り組んでいる。



海での水泳教室 シバサン ナンゴクテンジソウ（絶滅危惧ⅠB類）の保全

④居場所と出番と役割のあるむらづくり

それぞれが面白い活動をして、関わり合いながら活動している。組織として、素晴らしい仕組みを作っている。



これまでの取り組みが評価され、平成29年10月18日に開催された農林水産祭中央審査委員会で天皇杯の受賞が正式に決定。この快挙に村内は歓喜に沸きました。平成29年11月23日に東京の明治神宮会館で開催された農林水産祭式典に会長の後藤恭子さんから6名が出席し、天皇杯を受け取りました。

天皇杯受賞が決定！

3集落で報告会 宇検村主催の祝賀会も開催



平成29年12月10日には3集落それぞれの公民館で集落住民への報告会が行われ、受賞の理由やこれまでの経緯などが報告されました。また、天皇杯もお披露目され、記念撮影を行いました。その日の夜には平田公民館で3集落合同の祝賀会を開催。約70名が集まり、天皇杯受賞を盛大に祝いました。



阿室校区活性化対策委員会

祝!! 天皇杯 受賞!!

第56回（平成29年度）農林水産祭むらづくり部門において、「阿室校区活性化委員会」が最高賞の天皇杯を受賞。鹿児島県の団体では平成12年に正名字（知名町）の受賞以来17年ぶりの快挙を達成しました！！

これまでの取り組み

学校存続に向けて3集落が団結 親子山村留学に取り組む

「このままでは阿室小中学校がなくなってしまう・・・」そんな危機感から3集落が団結。何としても学校を存続されるという思いを共有し、平成21年に3集落で親子での山村留学制度の仕組み作りをスタート。パンフレットやホームページの作成、空家の改修など、試行錯誤しながら進めていきました。その取組が功を奏し、平成24年には児童生徒が24名と一気に倍増。校区全体が元気を取り戻しました。

新たなむらづくりがスタート 場所と出番と役割を作り出す

山村留学制度が軌道に乗ると移住世帯の就労面が新たな課題に。そこで、校区内で生計が立てられるよう活性化対策委員会内に班を作り、役割を決めて様々な活動にチャレンジ。校区内の耕作放棄地にフィンガーライムなどの新規作物を導入しました。また、タンカンやニンニクなど由来作物振興に加え、合同会社を設立して首都圏への販売など、Iターナー者と共に、多彩な取り組みを展開していきました。



また、平成30年1月7日には村主催の祝賀会も開催され、国政、県政関係者ら約110名が出席。天皇杯受賞の快挙に多くのお祝いの言葉が寄せられました。

皇居で両陛下と拝謁

平成30年1月26日には後藤会長と平田集落区長の盛宮信治さんが農林水産祭の他の部門の7組と共に皇居・宮殿で天皇皇后両陛下と面会しました。



シンポジウムで活動を発表

第17回「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」が平成30年2月20日、奄美観光ホテルで開催され、会長



の後藤恭子さんが来場者約200名の前でこれまでの活動や今後計画している取組などを発表。選定審査報告で農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会主査の浅野耕太さんは「地元の人たちとI・Uターナー者との共同農村協働力が高く発揮されている素晴らしい地域。まだまだ可能性を秘めている」と話しました。

農林水産祭

昭和37年から毎年11月23日の勤労感謝の日を中心として、国民の農林水産業に対する認識を深め、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲の高揚を図るため、国民的な祭典として行われています。

天皇杯

毎年農林水産関係団体等が「農林水産祭参加行事」として開催する約300の行事において農林水産大臣賞（約500点）を受賞した者の中から中央審査委員会の厳正な審査を経て選定されます。



水産との連携で地域資源の保全



在来ニンニクの復活と地域密着型の起業活動



新たな担い手、I・Uターナー者による農業振興



墓をみんなで守る！外構工事も共同で



タンカン産地の再生

平成30年成人式が盛大に開催



1 この日のために駆けつけた恩師3名と共に記念撮影 2 祝賀会では緊張が解けて笑みがこぼれる場面も 3 出席者全員で乾杯 4 誓いのことを述べる伊元姫乃さん

二十歳の決意を新たに!

宇 検村の新春を飾る恒例行事、宇検村成人式が平成30年1月4日(木)、宇検村生涯学習センター「元気の出る館」で行われました。新成人18人のうち、15人が出席。家族や地域住民など約150名の祝福を受け、二十歳の決意を新たにしました。

式典では、村野教育長と元田村長が祝辞を述べ新成人を祝福。新成人を代表して、伊元姫乃さんが「これまで以上に自分の行動に責任を持ち、感謝の気持ちを忘れず社会の一員として、一層貢献できるように努力いたします」と誓いの言葉を述べました。

式典後には村連合青年団主催の祝賀会が行われ、祝唄や島唄のほか、新成人の成長を記録したスライドを上映。会場からは当時を懐かしむ声が多く聞かれました。

平成30年成人式該当者(敬称略)

- 男性8人 ●女性8人
- 伊元 幸正(芦検) ●泉 日香里(芦検)
 - 小林 登生(湯湾) ●伊元 姫乃(芦検)
 - 栄 晃大(芦検) ●奥 巴香(芦検)
 - 重 充輝(石良) ●徳 里緒(芦検)
 - 竹下 裕也(湯湾) ●藤 優(湯湾)
 - 津田 純哉(湯湾) ●溝 辺まりな(湯湾)
 - 新元 一輝(須古) ●中 田翔太(名柄)
 - 柳 俊輔(湯湾) ●瀬 戸口紗彩(名柄)
 - 柳 泰雅(湯湾) ●倉 本瑛里奈(平田)

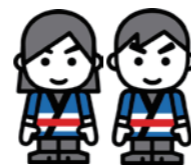
【新成人対象者】平成9年(1997年)4月2日から平成9年(1998年)4月1日までに生まれた方



平成30年宇検村消防出初式



1 通常点検。整列する姿が凛々しい団員たち 2 表彰を受ける芦検分団員の前田健さん 3 田検小学校鼓笛隊の皆さん 4 最後に行われた一斉放水の様子



宇検村消防団の団結力!

平成30年1月7日(日)宇検村総合体育館で宇検村消防出初式が行われました。宇検村消防団員77名が参加。村民の方々が見守る中、今年一年の防災への決意を新たにしました。

天候不良のため、会場を村総合体育館に変更して行われた今年の消防出初式。各分団員が凛々しい姿で会場内を行進した後、整列。続いて行われた通常点検では機敏な動きを披露しました。式典では長年の功績が認められた8名を表彰。保池久団長は「念願だった女性消防団員が今年の4月1日から発足することになった。これを機会に防災意識の向上を図り、より一層安心安全な宇検村を目指していきたい」と話しました。

式典終了後には、一斉放水が行われ、鮮やかな色水のアーチを描きました。

表彰受賞者(敬称略)

- ◎鹿児島県消防協会功績
前田 健
- ◎鹿児島県消防協会精績章
幸 峰昭、徳山季光、中田信幸、保 信一、俊岡純男
- ◎大島支部長15年勤続章
幸 峰昭、徳山季光、川畑博学、中田信幸、保 信一、俊岡純男
- ◎大島支部長功績章
山野知久

